

会 報

2020年6月1日発行

公益社団法人 日本技術士会 中部本部 静岡県支部
事務局連絡先 Phone:080-9495-8566 E-mail:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp
支部長: 山之上誠 事務局長: 岩田良明 会計: 鈴木敏弘 広報: 関根洋子

新年度を迎えるにあたって

新緑の候、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より日本技術士会の運営にご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、令和2年6月6日に年次大会(支部設立から5年目)を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で中止となりました。本来であれば、その場で年次大会資料の報告と講師の先生から講演をしていただく予定でしたが、このような状況のもと、県支部のメーリングリストにて資料を配信しましたことを改めて報告させていただきます。

静岡県支部の会員・準会員は、2020年3月28日現在311名です。支部の運営は、選挙で選出された幹事19名と各委員6名の総勢25人が携わります。

支部運営の基本方針は、①会員の自己研鑽へのCPD活動支援、②技術士の存在価値を広めること(組織力の強化と会員増)、③地域社会への貢献です。

昨年10月に台風19号が伊豆半島に上陸し甚大は被害を地域に与えました。県支部は所属する静岡県災害対策士業連絡会の一員として、被災者支援相談会に初めて参加しましたが、防災活動で何が出来るかを現実に関われる経験をしました。逆に言えば、今後にするべき課題が見えてきました。防災活動については、自治会を通じた住民のための支援、小学校への理科支援授業に防災教育を組み入れることを活動の軸に防災支援員個々の実力を付けるために活動の整理と研究も必須としました。これらの3項目を静岡方式として今年度の活動の柱としました。

社会貢献においては、テクノロジーカフェを継続します。技術士の知名度を広めるために一般市民への技術の話題をわかりやすく紹介することが課題です。理科支援活動については、静岡県教育委員会ならびに山崎自然科学教育振興会を通じて会員が小学生を対象に授業を行います。場所は、静岡県内を問わず中部地方にも及ぶこともあります。

このように会員が内から外へ活躍する事業活動を積極的に推進して参ります。現在、会社に属し、制約が多い会員も居られますが、将来を見据え、居場所のひとつとして今から積極的に参加をお願いするところです。県支部のホームページで活動内容をウェブ上にも公開しています。新型コロナウイルス感染症対策で3月からの予定が中止、延期を余儀なくされていますが、活動が再開される行事内容については改めてホームページ上に連絡をさせていただきます。引き続きご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

静岡県支部長 山之上 誠

2020年度 年次大会 報告概要

日時 2020年6月6日(土)13:30~16:40

場所 静岡労政会館(静岡市葵区黒金町5-1)

※静岡県支部年次大会は、上記により開催予定であったが新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を見合わせ、メールにより会員・協賛会員に配布・意見集約を行った。以下に2019年度の事業報告及び2020年度の事業計画について報告する。なお詳細については静岡県支部のHPに2020年度年次大会資料を掲載しているので参考にしていきたい。

第1号報告 2019年度事業報告並びに収支決算

1. 2019年度事業の概要

(1) CPD例会等の状況

- ・会員の自己研鑽のためCPD例会を5回、見学会を1回実施
- ・静岡県内の東部、西部地域例会を各1回(合計2回)開催した。
(なお中部地域例会についてはコロナウイルス感染症拡大により中止)
- ・新合格者説明会を継続実施した。

(2) 防災委員会及び研究会の充実

- ・「日本技術士会静岡県支部災害時支援活動計画(SAPD)」を制定した。(詳細はHPに掲載)
- ・構成団体である静岡県災害対策士業連絡会の理事会や講習会に参加し、会員相互の交流とスキルの向上を図った。
- ・令和元年10月に来襲した台風19号で被災された伊豆市、伊豆の国市、函南町の方々を対象にした静岡県災害対策士業連絡会主催の相談会に13名の支部会員が参加した。活動結果は「台風19号被災者支援活動報告書」(HPに掲載)にまとめた。
- ・牧之原市との締結に基づき道路決壊及び公園の景観保全に対する技術支援を2回行った。
- ・地震防災センター主催のこども防災教室に毎年参加しているが会場となる静岡県地震防災センターの改修工事により2019年度は

開催実績がなかった。すでに改修工事が完成したことから2020年度は静岡県と協議の上実施予定である。

(3) 社会貢献活動

- ・小中学校での理科授業を12回開催した。
- ・市民を対象としたテクノロジーカフェを9回開催し、技術士会の周知と科学技術の伝承に努めた。

(4) 事業開発

- ・静岡県経済産業部農地局農地整備課が所管する排水機場等の鑑定に対し電気関係の技術士を派遣した。
- ・静岡県中小企業団体連合会ものづくりセンターからの技術士紹介依頼に対応し、ものづくり補助金の審査支援業務を受諾した。
- ・静岡県建設技術監理センターが実施する県市町職員のスキルアップ研修に講師(2名)を派遣した。

(5) 海外との交流

- ・静岡県と浙江省は、30年以上にわたり経済、文化、環境など幅広い分野における交流を進めている。これまでも静岡県支部として浙江省の企業への支援を行ってきた。昨年度は、2019年11月に開催された『2019年グローバル・ビジネスマッチングin浙江省』に当支部から3名の会員が参加した。
- ・11月21日には浙江省建設業交流団の一行12名が来静し、建築関係の現場や品質管理等について意見交換を行った。当支部から

は3名の会員が参加した。なお今回の浙江省建設業交流団との交流は今後も継続していくこととしている。

2. 日本技術士会静岡県支部会員の状況

正会員 240名 (全国 15,722名)

準会員 71名 (全国 3,331名)

計 311名 (全国 19,053名)

名誉会員2名 磯部俊夫氏 (金属)

北本達治氏 (化学、総合技術監理)

協賛会員 15社(2018年度から1社増)

※2018年度に比較し会員の増減は正会員 1

名増加、準会員 12名減 計 11名減

※全国の会員数は2019年11月末現在

(2020年3月28日現在 技術士会HPWeb名簿による。)

3. 2019年度年次大会

日 時：2019年6月8日 (土)

場 所：男女共同参画センター(あざれあ)

出席者数：59名

(支部会員50名・中部本部役員9名)

第1号報告～第3号報告、その他報告について

特別講演：

演 題「最先端のイメージセンサが実現する人類未体験「超視覚テレビジョン」

講師 静岡大学 川人祥二 教授

4. 支部例会等の報告

2019. 4. 27 (第1回)

「技術士として労働安全に取り組んで」

講師 TAKE技術士事務所 所長

竹内 春樹氏

「災害心理学ってなんなん」

講師 関西大学 社会安全学部教授

元吉 忠寛氏

2019. 6. 8 (第2回)

最先端のイメージセンサが実現する人

未体験『超視覚テレビジョン』(再掲)

講師 静岡大学教授 川人 祥二氏

2019. 8. 24 (第3回)

「材料強度と破壊解析の基礎」

静岡理工科大学教授三林 雅彦氏

「ともに社会の一員・アンコンシャスバイアスを知る」

日本技術士会副会長 岩熊まき氏

2019. 9. 21 (第4回)

「現場が主導するものづくりIoT の活用」

矢崎総業株式会社ものづくり事業統括室主査

渡邊嘉彦氏

「現場で作る、使う、改善するIoT システム」

アンビエントデータ株式会社代表取締役

下島健彦氏

2019. 12. 14 (第5回例会) 見学会

会場 特種東海製紙Pam (駿東郡長泉町)

2020. 2. 22 (第6回)

「光触媒の基礎から応用まで」

国立研究開発法人産業技術総合研究所

主任研究員 平川力氏

「業務のe 化のその先にプロセスマイニングがある」

富士通株式会社マネージングコンサルタント

野村和哉氏

4-1 地区ブロック活動

・東部地区例会

日 時：2020年1月25日

場 所：ピゴ21 (沼津市高島町 21-11)

講 師：土井俊幸会員(技術士 環境部門)

演 題：SDGs～エシカル消費

・中部地区例会(コロナウイルス感染症拡大により中止)

・西部地区例会

日 時：2020年2月29日

場 所：ホテルセレクトイン浜松駅前

講 演Ⅰ「非常時の飲料水確保案・コンクリート構造物の不具合」小泉雅弘会員

講 演Ⅱ「2019年12月浙江省国際科学技術交流大会に参加して」森 一明会員

5. 委員会報告

(1) CPD委員会

前述のとおり2019年度は6回の例会(内1回は見学会)を開催、2地区で例会を実施した。

(2) 防災委員会

- a. 2019年度第46回技術士全国大会（徳島）及び第15回全国防災連絡会議が『地域防災における技術士の役割』をテーマに開催され、山之上支部長が「新たな世代（とき）へ、技術士の挑戦～静岡県の防災～」をテーマに発表した。
- b. 日本技術士会統括本部主催の第39回地域産学官と技術士との合同セミナーが「技術が守る防災・減災への挑戦～いのちを守るために最新科学と技術者が果たす役割～」をテーマに静岡市で開催され、科学者・技術者が防災・減災にどのように挑戦していくべきなのかを問いかけた。セミナーでは柴田防災委員長による「静岡県支部における防災への取り組み」を報告した。
- c. 伊豆の国市・函南町開催された静岡県災害対策士業連絡会主催の「台風19号災害のよろず相談会」は「日本技術士会静岡県支部災害時支援活動計画(SAPD)」の初めての適用となり、活動の中でこれからの課題が明らかとなった。今後は防災研究会と共により充実を図る予定である。
- d. 静岡県との災害協定関係
令和元年度災害時応援協定締結事業者研修会へ参加した。
- e. 静岡県災害対策士業連絡会
士業連絡会理事会及び学習会へ参加した。

(3) 社会貢献委員会

- a. テクノロジーカフェ
2019年度は9回開催した。2015年の1月開始以来延べ55人の会員が講師を担当した。引き続き技術士の知名度を広めるため一般市民に対し科学技術の話題をわかりやすく紹介する取り組みを継続する
- b. 理科支援委員会
愛知、岐阜、三重、静岡4県での小学校における理科特別授業は、2007年度より始め、

静岡県における累計実績69件、2019年度は12件実施した。

(4) 事業開発委員会

- a. 静岡県関係への対応について
 - 1) 経済産業部農地局農地整備課が所管する施設の鑑定・検査のため電気関係の技術士が対応した。
 - 2) 建設支援局建設業課が所管する静岡県建設工事紛争審議会の委員を派遣している。
 - 3) 静岡県中小企業団体連合会ものづくり支援センターからの依頼の補助金申請書類の審査を会員が担当した。
- b. 関係市町について
 - 1) 牧之原市との包括協定に基づき2019年度は2件の案件に対し助言した。
 - 2) 島田市が進める都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定にあたり、当支部からもアドバイザー会議に派遣した。

(5) 広報委員会

- a. 年4回広報誌を発行しており、2020年3月までの発行回数は静岡県技術士協会から通算し第169号となっている。日本技術士会中部本部静岡県支部となってからは第20号が発行済である。ホームページ(以下HP)などを活用し会員相互の情報共有を図るとともに広く情報発信を行っている。

6. 研究会報告

防災研究会とインダストリー4.0&IoT研究会(名称を「IoT研究会」に変更)は定期的に会合を開催し、その研究成果をHPへ掲載するなど精力的な活動を行っている。特に防災研究会は、防災に備える冊子の作成など社会への情報発信の取組や災害時連絡体制の拡充のための毎月の模擬訓練など具体的行動を行っている。

IoT研究会は、会員自ら簡易なIoTを実践し理解を深めている。また実生産工場での使用可能なIoT導入機を開発したメンバーもおり、一定の成果を挙げている。今回の会報にも詳細な活動報告を掲載している。

2019年度から新たに「小学校の理科特別授業としてのプログラミング教育研究会」「オープンCAE研究会」を発足させ会員を募集中である。

(1) 防災研究会（会員数：7名）

[目的]技術士会県支部の防災活動に寄与できるシステム等の検討作成

[活動内容]昨年度は5回会合を持ち主たる活動実績は下記のとおりである。

- ・災害時支援活動計画の作成
県支部としての発災時の支援活動計画を防災委員会と協業して作成するとともに台風19号被災者支援活動を行った結果を被災者支援活動報告書にまとめた。
- ・災害用伝言板を活用し防災委員会委員及び防災研究会員に対する安否確認を毎月実施している。

(2) インダストリー4.0・IoT研究会（会員数：8名）

[目的]現在、あらゆる産業や人々の生活に活用されはじめているIoTについて学び、社会への貢献を図るため各メンバーがテーマを持ち調査・研究を進める。
これまでの活動実績も含めIoT研究会報告に詳細を記載している。

7. 日本技術士会中部本部の委員会報告

(1) 倫理委員会報告：委員 吉田建彦

倫理委員会は月一回開催され、設置されたチームごとに討論し結果を発表して認識を高めている。「H30年度活動報告集」には、県支部会員の「企業不祥事を未然防止する有効な監査の提言」も掲載された。

(2) 企画委員会：委員 牧野好秀・長嶋滋孔
中部本部の年次大会の企画運営、日本弁理士会東海会との共同研究会、新合格者説明会の開催、その他新規事業を企画した。

(3) 研修委員会（CPD小委員会）委員 加藤信
委員会は年6回実施され、CPDのあり方等について議論を深めている。

(4) 修習技術者支援委員会 委員 森 一明
2020年2月15日に修習技術者研究業績発表会が開催され優秀な発表論文を表彰した。静岡県からは静岡理科大学機械工学科桜木研究室の小松利光氏が「小型軸流ファンの翼形状最適化によるエネルギー効率の改善」で学生の部第1位優秀賞を得た。

(5) 試験業務支援委員会 委員 中村 央
技術士試験についても無事に試験実施を終了した。

(6) 社会貢献委員会（防災支援小委員会）
委員 馬淵大幾
2019年12月18日の防災支援小委員会において、静岡県災害対策士業連絡会として実施した伊豆の国市及び函南町における被災者された方への相談会について報告した。

(7) 社会貢献委員会（理科支援小委員会）
委員 吉田建彦・小泉雅弘
小学校における理科特別授業は、2007年度から始めて12年目、累計実績380件となり2019年度は4県で25件実施した。
2020年度から小学校6年生にプログラミング教育が導入されるため講座に追加したが、内容充実や講師を増やす方策など課題に取り組むこととしている。

(8) 広報委員会：委員 岡井政彦
日本技術士会統括本部（東京）の月刊「技術士」への掲載記事の執筆者人選や原稿依頼などの取りまとめを実施。本県支部関係では、山之上支部長及び宮野正克氏の2氏の記事を月刊「技術士」に推薦した。

また中部本部広報誌【技術士 ちゅうぶ】（半年報）を2019.9月（第4号）と2020.3月（第5号）の2回、編集・発刊した。

中部本部ホームページ（HP）改善委員会によって改善点が整理されたので、これに従い今後HPの改造を随時進めていく。

(9) よろず科学技術相談所：

中部本部では2017年から「よろず科学技術相談所」を発足させ、当県からも一名が登録している。

8. 2019年度決算報告

(2019年4月1日～2020年3月31日)

科目	決算額(円)
1. 事業活動収入	
自主事業収入	481,440
参加費収入	246,500
地域組織収入	1,076,180
雑収入	143,600
事業活動収入計	1,701,220
2. 事業活動支出	
事業費支出	1,992,291
事業費支出計	1,992,291
事業活動収支差額	△291,071
当期収支差額	△291,071
前期繰越収支差額	1,180,148
次期繰越収支差額	889,077

第2号報告 2020年度事業計画並びに収支予算(案)

1 事業推進の方針

(1) 基本方針

- ・会員の自己研鑽への支援（CPD例会活動の充実）を進める。
- ・技術士の存在価値を広く深く社会に認知させる取り組みの強化とともに組織力の強化と会員増を図る。
- ・地域社会への貢献
内から外への事業活動を重視し、技術士の活躍の場を広げる努力をこれからも続ける。2020年の春先に発生した新型コロナウイルス感染症のため予定された会議や例会の予定が中止や延期を余儀なくされている。役員会など事前の会合の方法について

も効率性が求められておりテレビ会議の可能性についても検討していく。

(2) 活動の概要

- ・CPD活動：CPDの年間計画の作成と実行、会員に対する意向調査アンケート（メーリングリスト活用）、関連団体への参加依頼、部門別開催の検討と実施
- ・静岡市との「災害協定」を中身の濃い活動に展開できるよう検討を進める
- ・中部本部で制度化した防災支援員の拡充を図り発災時に被災者支援ができる体制整備
- ・防災教室などの活動を静岡県地震防災センターと協業して実施
- ・昨年10月に発生した台風19号の被災者支援相談会に県支部として初めて参加した経験を糧に今後の防災支援活動に活かしていく。
- ・牧之原市との「公共土木施設のマネジメントに係る技術助言に関する包括協定」については市関係者との交流を拡充するとともに静岡県交通基盤部との災害協定や静岡県災害対策士業連絡会などに対し技術士会としての支援のあり方について研究を深化させる。
- ・市町支援：市町支援を強化するため、新たな協定締結に向け市町への広報を強化する。
- ・事業開発活動：経済産業部農地局の農業通信設備の鑑定・検査、静岡県建設工事紛争審議会、静岡県建設技術監理センターなど関係部署との情報交換を継続するとともに静岡県産業振興財団、静岡県ものづくり支援センター等に対し引き続き会員を派遣できるよう積極的な交流を継続する。静岡県日中友好協議会を通じての中国浙江省の企業支援の依頼については、必要に応じ、当会の海外活動支援委員会や中部本部ならびに管内支部へも情報発信するとともに相手先のニーズなどを調査、研究したうえで対応する。
- ・社会貢献活動：技術士の知名度を広めるため一般市民へ技術の話題をわかりやすく紹

介するテクノロジーカフェの取り組みを継続する。理科支援についても要請が多いことから引き続き理科特別授業を続ける。

- ・広報活動：事業については、ホームページなどを通じて公開するため第三者が見やすい内容に心掛ける。関係先へは、年始や年度初めの挨拶などに加え広報紙の配布などを通じ顔の見える関係の構築に努める。

2. 事業計画

(1) 年次大会(コロナ感染症の拡大により中止)

日 時：2020年6月6日(土) 13:30～

場 所：静岡労政会館(静岡市)

報告：2019年度事業・決算、2020年度計画・予算

特別講演Ⅰ：

「Maasは人々の移動と社会をどう変えるか：実証実験を1年試した今改めて考える」

伊藤昌毅氏

(東京大学 生産技術研究所 特任講師)

特別講演Ⅱ：

「ソウハツする遊び場としてのVIRTUAL SHIZUOKA」

杉本直也氏(静岡県建設技術企画課)

(2) 例会等の開催予定

① 第1回例会(延期)(あざれあ501会議室)

2020年4月18日(土) 13:30～16:40

講演Ⅰ「浙江省国際マッチング大会出席報告」

日本技術士会静岡県支部 加藤信之会員

講演Ⅱ「チャ害虫の総合的管理体系と日本茶の輸出促進戦略」

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究所 佐藤安志氏

② 第2回例会(年次大会)(中止)

③ 第3回例会 2020年8月22日(土)

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

④ 第4回例会 2020年10月24日(土)(場所未定)

⑤ 第5回例会 2020年11月28日(土)

(見学会を予定)

⑥ 第6回例会 2021年2月20日(土)(場所未定)

⑦ 地区例会の開催 2021年1～3月期

(東部地区、中部地区、西部地区)

(3) 技術士会会員拡大に向けて

静岡県内の技術士試験合格者向けの説明会を開催する。まだ日本技術士会に未加入の

合格者に対し技術士会加入(正会員、準会員)への促進を図る。

- a. 日本技術士会の説明、支部活動の概況、会員有志との合同懇親会開催(4月25日催予定であったがコロナウイルス感染症の拡大により延期。説明資料は申込者に送付済)
- b. 新たに日本技術士会に入会した会員に向けては、積極的な支部行事への参加を働きかける。

(4) CPD活動の活性化

前述のとおり講演会・見学会を開催し、会員等に自己研鑽の場を提供する。

(5) 研究会

昨年度末に新たに2つの研究会が立ち上がり、既存の研究会を含め活発に活動しており、これまでの成果や今後の方向性について発表していく。また、随時研究テーマについて会員から募集していく。

1) 防災研究会：

防災委員会と協業して次の活動を行う

1. 自治会を通じた住民への支援活動
2. 小学校における防災教育充実
3. 防災支援員活動の整理と研修

2) IOT研究会

IoT研究会は、あらゆる分野におけるIoTについて情報交換しその活用方法について研究していく。また、現在取り組んでいる家庭菜園への活用等について深化させて行く。

3) 小学校の理科特別事業としてのプログラミング教育研究会

2020年度から小学校において、プログラミングに関する授業が導入されることになった。

日本技術士会中部本部の理科支援小委員会では、このプログラミング教育を理科特別授業の枠の中で実施可能性について検討を開始している。静岡県支部でも同様の研究会を立ち上げ、小学校理科教育に役立つ特別授業を提供して行く。

4) オープンCAE研究会の産業活用研究会

本研究会では、無料のオープンCAEソフトの操作方法を研究して操作ノウハウを蓄積し、そ

のノウハウを用いて産業への活用を図っていくことにより最終的に技術士として静岡県下の中小企業への技術支援を目指す。

(6) 防災活動

地球温暖化の影響と考えられる大規模な風水害が各地で発生しており静岡県支部としても防災支援活動を強化して行く。

また防災教育も重要な取組であることから静岡県地震防災センター主催の「こども地震防災教室」等にも参加し、防災意識の地域的広がりや向上に努める。

(7) 社会貢献活動

テクノロジーカフェや理科支援についても積極的に進めて行く

(8) 事業開発活動

静岡県

経済産業部農地局の農業通信設備の鑑定・検査の実施に関わる会員の紹介、同じく交通基盤部建設支援局が所管する建設工事紛争審議会委員への派遣を継続する。

牧之原市他関係市町

牧之原市との「公共土木施設に係る技術助言に関する包括協定」については、2015年11月30日に協定締結以来、延べ11件の助言及び技術研修会を3回実施した。

昨年度は、道路決壊、勝間田公園の景観保全の2件に対応した。引き続き市関係者との情報交換などを今後も継続する。

関係市町に向けた技術支援は牧之原市との実績を重ねる中で市町のニーズがどこにあるかなどが明確となりアプローチしやすい環境となっている。市町支援については大変重要な取組であることから会員からの情報なども活用し取組を強化して行く。

その他受託業務

静岡県産業振興財団と静岡県中小企業団体中央会内ものづくり支援センター対する支援は、中小企業の育成に寄与することから今後も審査の受託を継続する。

静岡商工会議所内静岡県事業引継ぎ支援センターについても技術的評価に関する支援案件受託に向けて相手先との情報交換を継続する。

中国浙江省との交流

静岡県日中友好協議会とも情報を共有しつつ今後も中国浙江省への技術支援を継続する。

(9) 広報活動

年4回の支部広報誌発行を確実に行う。またホームページでの情報提供を拡充させる。

(10) 2020年度予算(案)

(単位：千円)

科目	2020年度予算(案)
1. 事業活動収入	
(1) 事業収入(参加費他)	481
(2) 雑収入(協賛会員年会費他)	190
(3) 地域組織活動費収入	450
(4) 地域組織活動補助費収入	226
事業活動収入計	1,286
2. 事業活動支出	
1. 事業広報費	137
2. 普及啓発費	85
3. 研鑽費	500
4. 業務推進費	504
5. 雑費その他	60
事業活動支出計	1,286
当期収支差額	0

第3号報告 県支部役員体制・協賛会員(2019年度・2020年度)

支部役員は、下記の体制とする。

	役 職	氏 名	
中部本部 (太字は中部 本部幹事) ※は委員長	副本部長	山之上 誠	
	中部本部幹事	岡井政彦・岩田良明・牧野好秀	
	総務委員会	山之上 誠・岡井政彦・岩田良明	
	倫理委員会	吉田建彦	
	企画委員会	牧野好秀・長嶋滋孔	
	研修委員会 (CPD 小委員会)	加藤信之	
	独立技術士交流委員会	五味道隆	
	修習技術者支援委員会	森 一明	
	試験業務支援委員会	中村 央	
	広報委員会	岡井政彦※・中山久仁厚	
	活用促進委員会		
	社会貢献委員会 (防災支援小委員会)	柴田達哉・馬淵大幾	
	社会貢献委員会 (理科支援小委員会)	吉田建彦・小泉雅弘	
静岡県支部 幹事	支部長	山之上 誠	
	副支部長 (広報)	岡井政彦	
	副支部長 (防災)	角入一典	
	副支部長 (事務局長)	岩田良明	
	事務局補佐	松世麻理子	
	会計幹事	鈴木敏弘	
	会計補佐	池谷忠文・土屋国彦	
静岡県支部 委員会幹事 ()は委員 として参画	CPD 委員会	牧野好秀※・加藤信之・小澤 靖・(内藤克巳) 水野俊兵・(松世麻理子)・(中村 央)	
	広報委員会	関根洋子※・山下久吉・(中山久仁厚)	
	防災委員会	柴田達哉※・角入一典・馬淵大幾 土井俊幸	
	対静岡市 (災害協定研究委員会)	(松本 亨)	
	社会貢献委員会	テクノロジーカフェ	山之上誠※・鈴木敏弘
		理科支援委員会	吉田建彦※・小泉雅弘
事業開発委員会	土井俊幸※・鈴木敏弘		
静岡県支部地 区担当	東部担当	加藤信之○・土井俊幸・大井寿彦	
	中部担当	小澤 靖○・柴田達哉・松世麻理子	
	西部担当	馬淵大幾○・小泉雅弘・森 一明	

※各委員会の委員長 ○: 地区責任者

協賛会員（企業）一覧（2020年4月現在15社）

（敬称略）

会社名	役 職	代表者氏名	住 所
(株) 共和コンサルタント	代表取締役社長	杉本 洋	浜松市
(株) 建設コンサルタントセンター	代表取締役社長	小田 秀昭	静岡市
太洋電機 (株)	代表取締役会長	齋藤 智	静岡市
(株) 日本地理コンサルタント	代表取締役社長	山田 巧	静岡市
(株) 東日	代表取締役社長	芹澤 秀樹	沼津市
(株) 中部総合コンサルタント	代表取締役社長	豊田 哲也	浜松市
吉田測量設計 (株)	代表取締役社長	吉田 英司	浜松市
昭和設計 (株)	代表取締役社長	山村 卓道	静岡市
(株) 蓮池設計※	代表取締役社長	蓮池 康彦	浜松市
不二総合コンサルタント (株) ※	代表取締役社長	牧田 敏明	浜松市
(株) フジヤマ※	代表取締役社長	藤山 義修	浜松市
大鐘測量設計 (株)	代表取締役社長	小田 稔彦	島田市
服部エンジニアリング (株) ※	代表取締役社長	服部 剛明	静岡市
静岡コンサルタント(株)	代表取締役社長	森崎 祐治	三島市
富士設計 (株)	代表取締役社長	小野寺 久子	富士宮市

※は2口加入の会員

【その他報告】

支部では、静岡県や静岡市等と下記の協定を結んでいる。

1. 「中小企業等への支援に関する覚書」
中小企業診断士協会 2009年5月7日
2. 「災害時における市民への復興まちづくりの助言に関する協定書」
静岡市 2010年6月29日、2016年3月21日
組織名称変更に合わせて再契約
3. 「技術評価に関する協定書」
静岡市商工会議所 2012年9月3日
4. 「公共土木施設に係る技術助言に関する包括協定」
牧之原市 2015年11月30日
5. 災害時における相談業務に関する合意書
静岡県災害対策士業連絡会 平成30年12月25日
6. 「大規模災害時における被災箇所の復旧に係る助言に関する協定書」
静岡県 平成31年3月18日

2019 年度の理科特別授業

技術士会中部本部理科支援小委員会では、2019 年度も中部本部 4 県下の小学校、教育機関等で、多くの理科特別授業を実施しました。特に静岡県内では 12 の小学校で 6 科目の特別授業を実施しました。授業に協力していただきました支部会員の皆様ありがとうございました。

技術士会では、毎年県教育委員会を通じて、多くの理科特別授業のプログラムを県内小学校へ提案しております。また 2020 年度から始まるコンピュータプログラミングに関する授業について、理科授業での実施可能性についての研究会を立ち上げました。理科特別授業に興味のある方は、技術士会事務局までお問い合わせ下さい。



炎色反応、花火の色はどうつけるのか



モーターを作ってみよう

文責：岡井政彦

写真提供（上：佐鳴台小、下：富塚西小）

No.	日付	学校	講師(敬称略)	題目	学年・組	備考
名古屋	7月10日	名古屋市立瑞穂小	加藤信夫	自由研究のテーマを見つけよう	3-1,2,3	
	12月11日	名古屋市立梅森坂小	谷口芳和	世界一簡単なモーターを作ろう	5-1,2	
名古屋	2月5日	名古屋市立大清水小	野本健司	エコキャンドルを作ろう	4-1,2,3,4,5	
静岡県	7月8日	磐田市立豊岡南小学校	岡井政彦	モーターを作ってみよう	4年、5年、6年(自然科学クラブ)	山崎財団
	7月9日	浜松市立曳馬小学校	馬淵大幾	土地のつくりと変化、暮らしと防災	3, 4, 5, 6年(発達支援)	山崎財団
	9月3日	下田市立朝日小学校	吉田建彦	月の満ち欠けはなぜ生じるか	6年1組	山崎財団
	9月10日	富士市富士第二小学校	北本達治	二酸化炭素、ドライアイスを使った実験	4年、5年(ネイチャーサイエンスクラブ)	山崎財団
	9月11日	静岡市立長田北小学校	吉田建彦	月の満ち欠けはなぜ生じるか	6年	山崎財団
	9月13日	島田市立第三小学校	小川洋(三重県)	地球環境の変化、植物や小動物に対する生命の不思議とその神秘	5年1, 2組	山崎財団
	9月24日	袋井市立高南小学校	吉田建彦	月の満ち欠けはなぜ生じるか	6年1, 2, 3組	山崎財団
	10月7日	浜松市立富塚西小学校	北本達治	炎色反応 花火の色はどうつけるのか	自然科学クラブ	浜松RAIN房
	10月15日	静岡市立服織小学校	北本達治	二酸化炭素、ドライアイスを使った実験	4年,5年,6年(科学クラブ)	山崎財団
	10月17日	浜松市立神久呂小学校	北本達治	炎色反応 花火の色はどうつけるのか	詳細未定	浜松RAIN房
	10月23日	浜松市立佐鳴台小学校	北本達治	炎色反応 花火の色はどうつけるのか	4・5・6年生	浜松RAIN房
	2月3日	浜松市立富塚西小学校	岡井政彦	モーターを作ってみよう	自然科学クラブ	浜松RAIN房
岐阜	11月5日	各務原市立稲羽西小学校	新實智嗣	わたしたちの住んでいる町の地形や地層	6-1,2	
その他	4月21日	ナスもルラボ講座	関口芳弘	(開校式講演) 化学入門	小学3~6年生、中学生	ナスもル知立
	6月23日		春田要一	身の回りのもので電池を作ろう		
	7月7日		加藤信夫	くらしに役立つ生物のすご技を学ぼう		
	9月8日		野本健司	風力発電機を作ってみよう		
	10月20日		新實智嗣	私たちの住んでる町の地形と地層		
	12月15日		野本健司	エコキャンドル作り		
	1月12日		麻田祐一	電池と磁石のはたらき		
	2月9日		林誠	手作りモーター		

※2020 年度は 5 月 25 日時点で 4 件の授業要請が来ている

IoT 研究会 活動報告

IoT 研究会の活動について、発足した 2017 年からの活動履歴を以下のとおり報告する。

1. メンバー

小澤会員（会長）、三宅会員（幹事）、柴田会員（アドバイザー）、大出会員、土井会員、中村会員、岡井副支部長、伊賀氏（非会員・静甲株式会社）、（退会：白木会員（副会長）、松島会員）

2. 活動履歴

2017 年度

第 1 回：9 月 3 日、第 2 回：10 月 8 日、第 3 回：11 月 5 日、第 4 回：12 月 3 日、
第 5 回：(2018 年) 1 月 14 日、第 6 回：2 月 24 日、第 7 回：3 月 17 日

[見学会]：12 月 20 日 三菱電機株式会社名古屋製作所見学

主な活動内容

- ・建設現場の生産革命（i-Construction）の現状報告
- ・製造業の生産現場における IoT 活用状況の調査・報告（愛知県幸田町 IoT ラボの紹介、等）
- ・メンバーの IoT 関連セミナー参加の報告
- ・白木会員が静岡県支部 2017 年度第 6 回例会にて講演
- ・見学会：三菱電機株式会社名古屋製作所（2017 年 12 月 20 日）
シーケンサ工場とサーボモータ工場を見学した。三菱電機株式会社では「e-Factory」というコンセプトで 2003 年から IoT 取り組んでおり、その中に IoT もふくまれているとのことであった。稼働状況の管理や部品単位のトレーサビリティの管理に取り組みされていた。

2018 年度

第 1 回：4 月 1 日、第 2 回：5 月 13 日、第 3 回：6 月 3 日、第 4 回：7 月 22 日、
第 5 回：9 月 2 日、第 6 回：10 月 21 日、

第 7 回：11 月 3 日[見学会]「PHOTON FAIR 2018」見学、第 8 回：12 月 16 日、

第 9 回：1 月 27 日、第 10 回：2 月 17 日、

第 11 回：3 月 21 日[見学会]静甲株式会社「IoT で生産管理とメンテナンス」展示機見学

主な活動内容

- ・ラズベリーパイ等のマイコン調査、IoT への活用検討（家庭菜園、GPS を利用した地すべりの観測）
- ・CIM(建設業務の効率化)活用の報告
- ・IoT を活用したスマートホーム機器の導入報告
- ・小澤会員が 4 月のテクノロジーカフェで IoT に関して講演

・見学会：第7回と第11回で見学会を実施した

(1) 第7回 「PHOTON FAIR 2018」見学

メンバーの勤務先である浜松ホトニクス株式会社が開催した「PHOTON FAIR 2018」を見学した。光に関わる最先端の技術を見ることができ、またレーザー核融合やハイパーカミオカンデなどの世界の最先端の技術から、私達の暮らしにかかわるものまで幅広く展示されていた。

(2) 第11回 静甲株式会社「IoTで生産管理とメンテナンス」展示機見学

メンバーが開発の指揮を執ったIoTを活用した展示機を見学した。遠隔地で稼働状況を確認できる機能やメンテナンスへの活用等を実際にデモしていただいた。

2019年度

第1回：4月7日、第2回：5月26日、第3回：6月23日、第4回：7月21日、
第5回：8月18日、第6回：9月1日、第7回：10月6日、第8回：11月3日、
第9回：12月22日、第10回：1月26日、第11回：2月2日、第12回：3月1日
主な活動内容

・本年度より各メンバーがそれぞれ個人テーマを持ち、その取組み報告が主となった。

2020年度

第1回：4月5日(WEB会議)、第2回：5月10日(WEB会議)

3. メンバーの個人テーマ紹介

(1) 家庭菜園への活用

家庭菜園におけるマイコンを用いたIoT活用による自動水撒きシステムを計画。当初は「ラズベリーパイ」というシングルボードコンピュータ(マイコン)を用いる予定で試作したが、第4回例会で紹介されたデータ可視化サービス「Ambient」と、「M5Stack」(マイコン)が扱い易そうなことからそちらでの試作、更にWEBサービスを利用しやすいマイコン「obniz」による試作も開始している。

(2) 親の見守りへの活用

センサにより振動を検知し、枕の利用状況を遠隔地から見える化できるシステムを計画。現在は中古のスマホのセンサを利用し、ブラウザで利用状況がグラフで見えるようにしている。今後は異常時に警報を鳴らして知らせる機能などを追加し、またより安価なセンサへの変更を検討する予定。

(3) VPNルータとソフトウェアを組合せたシステムの開発。

初歩的な生産管理ができるソフトウェアをVPN(バーチャルプライベートネットワーク)ルータに組込んだシステムを開発。主に中小企業を対象にオリジナルの製品を構成して提案をしていく。

文責：小澤靖(機械部門)

研究会発足のお知らせ

2020年2月22日の支部役員会にて以下の2つの研究会活動が認められ、活動を開始しました。詳細な活動経過については、今後例会や当HPにて随時報告いたします。

研究会への参加をご希望の方がいらっしゃいましたら、お気軽に事務局またはHPに掲載している各研究会呼びかけ人までお問い合わせください。

小学校の理科特別授業としてのプログラミング教育研究会

「目的」

平成2年度から小学校において、プログラミングに関する授業が導入されることになったが、内容は子供たちにプログラミング言語を教えることではなく、これからのコンピュータ社会を支える社会人としてのコンピュータ利用に関する論理的な思考法を養うことに力点がおかれている。

一部のモデル校では、先行して授業を実施しているところですが、大部分の小学校では本年の秋口から取り組まれる予定で、現在は学校で学習方針について準備されている段階である。

日本技術士会中部本部の理科支援小委員会（小中学校の理科特別授業実施）では、このプログラミング教育を理科特別授業の枠の中で実施可能性について検討を開始したところである。

静岡県在住の技術士活用を推奨している山崎財団からの支援もあるので静岡県支部でも同様の研究会を立ち上げ、小学校理科教育並びに県内の小学校に役立つ支援を提供したい。

オープン CAE 研究

「趣旨」

産業界では、CAE(Computer Aided Engineering: 計測援用工学)シミュレーションソフトが試作費用低減と業務効率化のために活用されています。しかし、CAE ソフトは非常に高価だったために資金力のある大手企業に限定されていました。

ところが、最近は無料のCAEシミュレーションソフトが現れており、多額の初期投資が理由でこれまで導入を断念していたような中小企業にもCAE活用が可能な状態になっています。

本研究会では、無料のオープンCAEソフトの操作方法を研究して操作ノウハウを蓄積していき、そのノウハウを用いて産業への活用展開を図っていくことにより、最終的には技術士として静岡県下の中小企業への技術支援及び技術移管をめざしていきます。

最終的な姿は非常に壮大で実現には長期間を要すると思われませんが、技術士としての社会的使命に照らして非常にやりがいのある研究会だと思っています。

『技術士がおすすめる本の紹介』掲載のおしらせ

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大防止のため、緊急事態宣言が発表され、外出自粛が求められました。また、学校は休校となり子供たちが多くの時間を自宅で過ごすことになりました。

このような状況において、自宅で過ごす時間を科学に触れる時間にしていいただければと考え、当支部会員技術士から、本の紹介をさせていただく『技術士がおすすめる本の紹介』ページを開設することといたしました。当支部では、社会貢献活動として、小学校等における「理科支援事業」や、「テクノロジカフェ」のような一般の方むけに科学技術に関する話題提供などを行っています。『本の紹介』もこれらの活動の一環になると考えております。

当支部会員の技術士が、自分の専門分野を中心にみなさんにおすすめしたい本を選びました。分野も様々ですが、絵本、エッセイ、実験の解説書など、本の形態も様々です。こどもでもわかりやすい本を選んでいきます。ぜひ、当支部ホームページへアクセスしてください。また、みなさまのご家族やお知り合いの方にも当支部ホームページの『技術士がおすすめる本の紹介』ページをお知らせいただけますと幸いです。

紹介している本は、2020年5月26日時点で47冊です。本の情報は、随時更新していく予定です。

■お知らせ

静岡県支部防災研究会では小冊子「家族で考える防災Q&A」を発行しました。

この冊子は、日本技術士会統括本部の防災支援委員会が作成した「親子で考える防災Q&A」をもとに、多くの県民の方が活用できるよう静岡県版として作成しました。家族や地域の防災活動に是非ご活用ください。1冊あたり54円(税込み・送料別途)でご購入いただけます。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。詳細は、日本技術士会静岡県支部のHPの[防災研究会のページ](#)をご覧ください。



■今後の行事予定

名 称	月 日	時 間	場 所	内 容
第3回 CPD 例会	8月22日(土)	午後(予定)	静岡県男女共同参画センター「あざれあ」(静岡市)	CPD 例会 (講演テーマ及び講師は検討中)
第4回 CPD 例会	10月24日(土)	午後(予定)	静岡労政会館(静岡市)	CPD 例会 (講演テーマ及び講師は検討中)
第5回 CPD 例会	1 1月28日(土)	午後(予定)	見学会を予定	CPD 例会 (場所等は検討中)
第6回 CPD 例会	2021年 2月20日(土)	午後(予定)	静岡市内で開催予定	CPD 例会 (講演テーマ及び講師は検討中)

※今後の例会につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら順次開催してまいります。

※会員の方には、メーリングリストにて、随時行事の案内をお知らせいたします。